

労働力調査（詳細集計）

2022年(令和4年)平均

結果の概要

【正規、非正規の職員・従業員】

- 役員を除く雇用者5689万人のうち、正規の職員・従業員は3588万人と、前年に比べ1万人の増加。8年連続の増加。
- 非正規の職員・従業員は2101万人と、26万人の増加。3年ぶりの増加
- 非正規の職員・従業員について、現職の雇用形態についての主な理由別にみると、「自分の都合のよい時間に働きたいから」とした者が679万人と、前年に比べ22万人の増加。「家計の補助・学費等を得たいから」とした者が389万人と、2万人の増加。「正規の職員・従業員の仕事がないから」とした者が210万人と、6万人の減少

【失業者（失業期間別）】

- 失業者は198万人と、前年に比べ16万人の減少。失業期間別にみると、失業期間が「3か月未満」の者は75万人と、4万人の減少、「1年以上」の者は66万人と、3万人の減少

【非労働力人口（就業希望の有無別）】

- 非労働力人口は4105万人と、前年に比べ42万人の減少。このうち就業希望者は238万人と、17万人の減少
- 就業希望者について、求職活動をしていない理由別にみると、「適当な仕事がありそうにない」とした者は85万人と、前年に比べ7万人の減少

【未活用労働】

- 就業者6713万人のうち、追加就労希望就業者は195万人と、前年に比べ32万人の減少
- 非労働力人口4105万人のうち、潜在労働力人口は35万人と、前年に比べ4万人の減少
- 未活用労働指標の中で、最も包括的に未活用労働を捉えた未活用労働指標4（LU4）は6.2%と、前年に比べ0.7ポイントの低下

	実数 (万人、%)			対前年増減 (万人、ポイント)		
	男女計	男	女	男女計	男	女
15歳以上人口	11017	5312	5705	-47	-23	-24
労働力人口	6911	3803	3108	-6	-22	15
就業者	6713	3690	3023	10	-12	22
うち雇用者	6032	3268	2764	25	-1	27
うち役員を除く雇用者	5689	3008	2681	27	1	26
正規の職員・従業員	3588	2339	1249	1	-14	16
非正規の職員・従業員	2101	669	1432	26	16	10
【現職の雇用形態についての主な理由別】						
自分の都合のよい時間に働きたいから	679	199	480	22	12	10
家計の補助・学費等を得たいから	389	81	308	2	6	-4
家事・育児・介護等と両立しやすいから	222	8	214	3	0	3
通勤時間が短いから	95	29	66	-1	1	-1
専門的な技能等をいかせるから	165	81	84	1	-1	2
正規の職員・従業員の仕事がないから	210	103	107	-6	-3	-3
その他	269	137	132	3	3	0
失業者	198	113	85	-16	-10	-7
【失業期間別】						
3か月未満	75	35	39	-4	-2	-3
3か月以上	120	75	45	-13	-9	-4
3～6か月未満	28	14	14	-3	-3	0
6か月～1年未満	26	15	12	-7	-3	-3
1年以上	66	47	20	-3	-2	0
非労働力人口	4105	1508	2597	-42	-2	-40
【就業希望の有無別】						
就業希望者	238	77	161	-17	-5	-12
【非求職理由別】						
適当な仕事がありそうにない	85	31	54	-7	-2	-5
出産・育児のため	38	0	38	-5	0	-5
介護・看護のため	15	4	11	1	1	1
健康上の理由のため	52	21	31	-3	-3	0
その他	43	18	25	-2	0	-2
就業内定者	87	43	44	5	4	1
就業非希望者	3770	1384	2386	-31	-1	-30
【未活用労働】						
労働力人口（再掲）	6911	3803	3108	-6	-22	15
就業者（再掲）	6713	3690	3023	10	-12	22
うち追加就労希望就業者	195	65	130	-32	-20	-11
失業者（再掲）	198	113	85	-16	-10	-7
うち完全失業者	179	107	72	-16	-10	-6
非労働力人口（再掲）	4105	1508	2597	-42	-2	-40
うち潜在労働力人口	35	13	22	-4	-3	-1
未活用労働指標1（LU1）（%）	2.9	3.0	2.7	-0.2	-0.2	-0.3
未活用労働指標2（LU2）（%）	5.7	4.7	6.9	-0.7	-0.7	-0.6
未活用労働指標3（LU3）（%）	3.4	3.3	3.4	-0.2	-0.3	-0.3
未活用労働指標4（LU4）（%）	6.2	5.0	7.6	-0.7	-0.8	-0.6

未活用労働に関する用語の定義（詳細は、「未活用労働指標の解説」（<https://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/mikatuyok.pdf>）

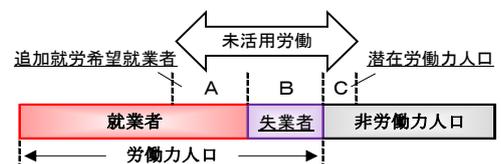
追加就労希望就業者：就業時間が週35時間未満で、就業時間の追加を希望しており、追加できる就業者（下図A）

失業者：就業しておらず、1か月以内に求職活動を行っており、すぐに就業できる者（下図B）

（「完全失業者」とは、「失業者」のうち1週間以内に求職活動を行った者）

潜在労働力人口：就業者でも失業者でもない者（非労働力人口）のうち、以下のいずれかの要件を満たす者（下図C）

- 1か月以内に求職活動を行っており、すぐではないが2週間以内に就業できる者（拡張求職者）
- 1か月以内に求職活動を行っていないが、就業を希望しており、すぐに就業できる者（就業可能非求職者）



未活用労働指標1（LU1）：失業者÷労働力人口×100

未活用労働指標2（LU2）：（失業者+追加就労希望就業者）÷労働力人口×100

未活用労働指標3（LU3）：（失業者+潜在労働力人口）÷（労働力人口+潜在労働力人口）×100

未活用労働指標4（LU4）：（失業者+追加就労希望就業者+潜在労働力人口）÷（労働力人口+潜在労働力人口）×100